

改元に伴っての 10 連休(4月27日~5月6日)、学校への影響は?



国民にとっては、いきなり初めての経験となった改元に伴っての 10 連休。学校では授業への影響はなかったのでしょうか。

村教育委員会指導室のお話では、10 日間で 3 日分不足が出たため補いとして、本村としては全校が、夏休みを 2 日間、冬休みを 1 日間短縮して授業に充てるそうです。

参院選！国民のための政治に転換を

「平成」から「令和」へ、変わったのは天皇が代替わりをしたということ。国民のくらしや環境を決める政治は、その体制が変わらない限り、そのままです。安倍自公政権による「消費税 10%への増税」や憲法 9 条「改憲」、「原発推進」政策では、国民生活は改善しません。

7 月には参議院選挙があります。真に国民の命と暮らし、環境を守り安心して暮らしていける政治へと転換させるために、「市民と野党の共闘」と日本共産党の大躍進が要です。命と、くらし破壊の安倍政治に終止符を！ ごいっしょに力を合わせましょう。

参院選、投票は2つあります。
比例代表選挙は、**政党名**、
選挙区選挙は、**候補者名**、
を書いて投票します。

丸山氏聴取応ぜず「体調不良」を理由に (衆院議運委)

衆院議院運営委員会は24日の理事会で、「北方四島」を戦争で取り戻すなどの暴言を放った丸山穂高衆院議員(日本維新の会を除名)から事実関係の聴取を予定していましたが、丸山氏は「体調不良」を理由に応じませんでした。同氏からは「2カ月間の休養が必要」とする医師の診断書が提出されました。病名は公表していません。

丸山氏は「北方四島交流」での国後島訪問中の「戦争」発言に加え、夜間外出を企てて政府職員らに制止された行状などが一部週刊誌で報じられています。高市早苗議運委員長は同日の理事会で、報道が事実なら衆院の品位を著しく汚すものであり、院としての態度を示さなければならないとの考えを示しました。

理事会では今後の対応として、休養中の丸山氏に対する委員長や与野党筆頭理事などの少人数による聴取の検討と、日本共産党の塩川鉄也議員が提案した丸山氏の行状を知る政府職員ら同行者への事実関係の聴取について引き続き協議することになりました。(しんぶん赤旗5月25日付け)

日曜版 5月26日号 **F35爆買い 元航空自衛隊幹部「必要ない」**

米国いいなりに安倍政権が爆買いする**F35戦闘機**。1機 116 億円で、保育所なら 4000 人分をつくるのが可能です。航空自衛隊の元幹部も「専守防衛に必要ない」と断言。日曜版5月26日号では、4月に墜落したF35が配備されている青森・三沢基地周辺のルポやF35に 800 を超える欠陥が指摘されている実態が特集されています。ぜひお読みください。

昨年9月28日、米海兵隊のF35Bが米南部サウスカロライナ州で墜落しました。最新鋭のステルス戦闘機F35は空軍用のA型、海兵隊用のB型(短距離離陸・垂直着陸が可能)、海軍用のC型がありますが、この三つの型を通して初めての墜落事故でした。

GAO(米政府監査院)は今年7日に発表した報告書で、同事故の原因について「製造上の欠陥によってエンジン燃料管が飛行中に破裂し、エンジンの出力が失われた」ことにあると記しました。米国防総省はGAOに対し、交換しなければならない同じタイプの燃料管が117機で使用されていたと報告しています。117機は、当時、全世界に配備されていたF35の約40%に当たると報じられています。